

授業科目 装具実習III（下肢装具実習II）

【担当教員】 阿部 薫、坂井 一浩 他		対象学年	3	対象学科	義肢
		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	90
【概要・一般目標：GI0】 装具III（下肢装具II）で習得した知識を基盤とし、講義/実演/実習を通じて足底及び靴型装具臨床工程を的確に行える技能を身につける。 （このコースでは以下を4項目を行う。1.実際の片麻痺者をモデルとしたAF0の適合まで、2.PTBAF0の陽性モデル修正まで、3.既製品K0の装着実習、4.長下肢装具の採寸、トレース、採型まで）					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 短下肢・膝、長下肢装具の使用目的を正しく理解するために、医師及びリハスタッフと円滑なコミュニケーションが行える。 2. 短下肢・膝、長下肢装具に関わる各臨床工程において、対象者への説明が的確に行える。 3. 対象者の安全性とプライバシー、及び義肢装具士の作業効率に配慮した作業環境を設定することができる。 4. 対象者の身体機能等、短下肢・膝、長下肢装具の設計に必要な情報収集（＝評価）を的確に行うことができる。 5. 対象者の個別条件に対応した短下肢・膝、長下肢装具のデザイン、材料、コンポーネントを選択できる。 6. 適切な短下肢・膝、長下肢装具のアライメントを理解し、それを採型/採寸/トレース及び装具の組立て作業に反映できる。 7. 短下肢・膝、長下肢装具のチェック・アウトが的確に行える。 8. 短下肢・膝、長下肢装具装着における問題点について正しく対処できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1～2	AF01：短下肢装具臨床工程1：脳卒中片麻痺の診断/評価			1～5	講義と実習
3～6	AF01：短下肢装具臨床工程2：装具設計、採型と採寸			3～6	講義と実習
7～12	AF01：短下肢装具の臨床工程3：陽性モデル修正			3, 6	講義と実習
13～18	AF01：短下肢装具の臨床工程4：製作			3, 6	講義と実習
19～20	AF01：短下肢装具の臨床工程5：仮合せプロトコール、適合上の問題解決			1, 3, 7, 8	講義と実習
21～22	AF02：PTB短下肢装具の臨床工程1：罹患部の評価と他の情報収集			1～5	講義と実習
23～26	AF02：PTB短下肢装具の臨床工程2：装具設計、採型と採寸			3～6	講義と実習
27～32	AF02：PTB短下肢装具の臨床工程3：陽性モデル修正			3, 6	講義と実習
33～38	AF02：PTB短下肢装具の臨床工程4：製作			3, 6	講義と実習
39～40	AF02：PTB短下肢装具の臨床工程5：仮合せプロトコール、適合上の問題解決			1, 3, 7, 8	講義と実習
41～42	K0：各種既製品膝装具の装着法と留意点			1, 3, 7, 8	講義と実習
43～45	KAF0：トレース、採型、採寸法			1～8	講義と実習
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		装具学第3版	加倉井周一ほか	医歯薬出版	2003・6,200円＋税・ISBN ：9784263212769
		新編装具治療マニュアル	加倉井周一ほか	医歯薬出版	2000・7,000円＋税・ISBN ：9784263215258
その他の資料					
【評価方法】 実習における連続的な課題を評価する。		【履修上の留意点】 学生のAF0実習では実際の片麻痺者をモデルとして行う。 学生同士が製作した装具の装着体験と通じ、装具装着によって生じる生活動作への制限等を知ることにより、臨床現場においても使用者への説明が的確に行えるようにすることも本実習の目的となる。			